



エコ・ファーストの約束

— 環境先進企業としての地球環境保全の取組 —

2025年10月21日

環境大臣 石原 宏高 殿

楽天グループ株式会社
代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史

楽天グループは、「みらいはみんなでつくろう」というコンセプトのもと、サステナブルな選択を当たり前前にできる社会の実現を後押ししていきます。楽天グループの事業による環境負荷の低減のほか、「楽天市場」や「楽天ラクマ」などを通じた持続可能な消費の普及活動を行い、お客様、パートナー、地域の皆様、従業員と共に、脱炭素社会の実現への貢献、資源管理に努めてまいります。

1. 環境負荷低減活動の推進

楽天グループは、温室効果ガス排出に関する削減目標（以下「本目標」）を設定しており、その達成に向け、これに資する取り組みを推進していきます。

国際的気候変動イニシアチブ「SBTi（Science Based Targets initiative）*1」によるSBT認定を取得しているため、本目標は、パリ協定における「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2°Cより十分低く保つとともに、1.5°C未満に抑える」ための科学的な根拠に基づいています。また、本目標においては、事業活動による温室効果ガスの排出（Scope 1、2）のみならず、取引先や協力企業を含むサプライチェーン全体における温室効果ガスの排出（Scope 3）にもスコープを広げています。

<削減目標>

Scope 1 及び Scope 2 排出量 2032年までに2022年比99.7%削減

Scope 3 排出量 2032年までに2022年比30%削減

2032年までに販売電力あたりの排出量を2022年比で76.8%削減

2019年12月より、楽天グループ株式会社は、「Renewable Electricity 100%」を意味する国際的イニシアチブ「RE100」に参加するとともに、このイニシアチブを通じて、すべての事業活動において「再生可能エネルギーへの100%切り替え」にコミットしています。加えて、2021年より、事業活動に使用する電力において再生可能エネルギーの導入率100%*2を達成しており、今後もこれを継続していきます。

*1 SBTiは、国連グローバル・コンパクト、CDP（気候変動対策などに取り組む国際NGO）、WRI（世界資源研究所）およびWWF（世界自然保護基金）が共同で設立した国際的な気候変動イニシアチブ。

*2 各社状況に応じ、電力の再エネ属性を証明する「FIT非化石証書」を利用し、実質100%再生可能エネルギー達成。

引き続き事業活動による気候変動への影響を軽減していくとともに、テクノロジー、イノベーションを通じた気候変動対策への貢献を目指します。「楽天市場」においては、テクノロジーを活用した商品輸送の最適化や再配達抑制など、店舗・パートナーとの協働を通じて、サービス提供の裏側でも環境負荷低減を進め、社会全体の持続可能性向上に貢献していきます。

2. 持続可能な消費行動の推進

「楽天ラクマ」のサービスを通して、中古品の取引を活性化させ、これまでは捨てられていた資源の有効活用を促進します。

楽天グループは、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について環境省へ報告、ならびに定期的にレポートなどによる公表をまいります。